



誘致企業 (2015年4月～6月)

2015年8月1日発行
 第29号

	企業名	本社所在地	立地場所	業種等
①	レッドハット(株)	東京都	福岡市	ソフトウェア開発
②	(株)ワンビシアーカイブズ	東京都	北九州市	情報処理、データ管理
③	ブリッジインターナショナル(株)	東京都	福岡市	法人向けアウトソーシングサービス(コールセンター)
④	(株)杉養蜂園	熊本県	久留米市	顧客向けコールセンター
⑤	山九(株)	東京都	福岡市	輸入貨物の集約及び配送
⑥	NSマテリアルズ(株)	筑紫野市	広川町	液晶ディスプレイのバックライトに使用するナノ蛍光体の製造

福岡県への進出企業について

①レッドハット株式会社(本社:米国、日本法人本社:東京都)が、コンピュータ・ソフトウェア及びコンピュータネットワークシステムの企画・開発等を行うため、福岡市に営業所を開設。平成27年5月に操業開始。

②金融機関や公的機関等の機密情報や個人情報など情報資産管理をサポートする株式会社ワンビシアーカイブズ(本社:東京都)が、北九州市のサイエンスパークへ進出することが決定。新規雇用は10名程度を予定、平成27年10月に操業開始予定。

③法人向けのアウトソーシングサービスを行うブリッジインターナショナル株式会社(本社:東京都)が福岡市に事業所を開設することが決定。新規雇用は今後3年間に200名を予定、平成27年8月に操業開始予定。

④蜂蜜・ローヤルゼリー・化粧品等の製造・販売を行う株式会社杉養蜂園(本社:熊本県)が久留米市にコールセンターを設置することが決定。新規雇用は12名、今後さらに12名を雇用予定。平成27年7月に操業開始。

⑤日用品や医薬品、自動車部品など多様な製品の集荷・配送事業を行う山九株式会社(本社:東京都)が福岡市のアイランドシティ港湾関連用地に物流センターを設立することが決定。新規雇用は10名を予定、平成28年3月頃に操業開始予定。

⑥液晶ディスプレイのバックライト用途に用いられる「ナノ蛍光体」の研究開発・製造を行うNSマテリアルズ株式会社(本社:筑紫野市)が八女郡広川町の久留米・広川新産業団地に新たに製造拠点を設置することが決定。平成28年4月に操業開始予定。



(写真)右からレッドハット株式会社の廣川社長、小島福岡県商工部次長、Red Hat, Inc. ダーク・ピーター・ヴァン・ルーウェン



(写真)右から檜原久留米市長、株式会社杉養蜂園の米田代表取締役社長、福岡県商工部企業立地課の高原課長

有効求人倍率

	全国	福岡県	地域別				
			福岡地域	北九州地域	筑豊地域	筑後地域	
2013年度	0.97	0.83	0.88	0.83	0.67	0.77	
2014年度	1.11	1.00	1.08	0.98	0.75	0.90	
2015年	3月	1.15	1.04	1.24	1.08	0.80	0.98
	4月	1.17	1.06	1.10	0.96	0.73	0.89
	5月	1.19	1.08	1.05	0.95	0.72	0.88

(出典：福岡労働局「平成27年6月26日発行 雇用失業情勢(平成27年5月分)について」)
 ※全国及び福岡県の数値は季節調整値(地域別は原数値)

福岡県企業立地情報

「立地企業振興会総会・講演会」を開催しました。

県では、県内立地企業の相互の情報交換や、行政に対する意見や要望をいただく場として、「福岡県立地企業振興会」を組織しています。7月27日、福岡市内で同振興会の総会・交流会を開催しました。

服部副知事は、「人口減少問題がクローズアップされる中、県としても、魅力ある雇用の場の創出、子育てしやすい環境の整備など人口減少対策にしっかり取り組んでいきます。」と挨拶しました。

総会では、県施策発表や会員企業のPR、株式会社一蘭 代表取締役社長の吉富学氏による講演が行われ、約150名の参加者は熱心に聞き入っていました。



(写真)あいさつする服部副知事

「福岡県航空機産業振興会議 総会・講演会」を開催しました。

県では、今後急成長が期待される航空機産業の本県への誘致促進及びその振興を図るため、平成22年から産学官連携組織である福岡県航空機産業振興会議を組織しています。7月15日、北九州市内で同振興会議の総会・講演会、交流会を開催しました。

服部副知事は、平成26年2月に三菱重工業株式会社が、北九州空港を三菱リージョナルジェット(MRJ)の飛行試験や駐機の拠点として活用する方針を発表したことを受け、「地元自治体とともに、北九州空港でのMRJ事業の展開について、全面的な支援をしてまいります。」と挨拶しました。

講演会では、県の事業計画等の説明、川崎重工業株式会社社友の榊達朗氏や株式会社VRテクノセンター研修部長の飯尾真也氏による講演が行われ、約140名の参加者は熱心に聞き入っていました。



(写真)福岡県航空機産業振興会議の総会の様子

グリーンアジア国際戦略総合特区関連

株式会社安川電機へ2度目のグリーンアジア国際戦略総合特区の法人指定書を交付

6月16日、総合特別区域法に基づく課税の特例措置を受ける法人として、株式会社安川電機を指定し、法人指定書を交付しました。今回の指定は、革新的技術開発による高効率・省エネ性能を備えた最先端産業用ロボットの生産拠点の構築および生産に対するものです。

小川知事は「特区制度ができて一番初めに指定させて頂いたのは安川電機様でした。今回の新たな設備投資により特区における設備投資累計額は1,200億円を突破しました。これもひとえに企業の皆さまのご尽力のおかげと感謝申し上げます。これからも一つでも多くの事業を立ち上げ、特区の成果をあげていきたい」と述べました。

これを受け、津田会長は「このたびのロボット新第3工場の建設について、国内につくるか海外につくるか迷ったが、グリーンアジア国際戦略総合特区の支援があることに加え、北九州の地で育った企業として地域との一体性を大事にしたいとの思いから国内に建設することを決めた。今後とも従業員一丸となって事業や地域の発展のために努めていきたい」と応じました。



(写真)右から株式会社安川電機の津田代表取締役会長兼社長、小川知事

日立金属株式会社へグリーンアジア国際戦略総合特区の法人指定書を交付

6月2日、総合特別区域法に基づく課税の特例措置を受ける法人として、日立金属株式会社を指定し、同社の今西九州工場工場長へ法人指定書を交付しました。今回の指定は、自動車の軽量化や燃費向上に寄与するターボエンジン用の排気系部品の生産体制強化に対するものです。

小川知事は「特区制度を通じて環境にやさしい製品に関わる産業の集積、拠点化を目指しているところですが、その一翼を担う設備投資を今回やっていただくということで大変心強く思います。これからも一つでも多くのプロジェクトを立ち上げて特区事業の実効性を上げていただき、所期の目的以上の成果が上がることを大いに期待しています」と述べました。

これを受け、今西工場長は「環境配慮型製品の開発、生産拠点の構築ということで九州工場の事業が特区制度の事業として認められたことを大変うれしく思っている。これからも事業の拡大、成長を目指して地域と福岡県の経済の発展に寄与していきたい」と応じました。



(写真)右から日立金属株式会社九州工場の今西工場長、小川知事

福岡県の先端成長産業関連

北部九州自動車産業アジア先進拠点推進フォーラム

県では、産学官が一体となって、「北部九州自動車産業アジア先進拠点推進構想」に取り組んでいます。

6月3日、関係者が一堂に集い、「北部九州自動車産業アジア先進拠点推進フォーラム」が北九州市で開催されました。

小川知事は、FCV(燃料電池自動車)をはじめとした次世代自動車の開発・生産拠点構築などを目標とする構想について、「実現に向け地域の力を結集して前進していく」とあいさつしました。

その後、FCVについての特別講演や各自動車メーカーの取り組み状況の報告などが行われ、約800名の参加者は熱心に聞き入っていました。



(写真)あいさつする小川知事

世界初！福岡発の次世代電子回路規格がIEC国際標準規格として成立！

～日本の半導体産業の国際競争力強化に貢献！～

産学官連携のもとで開発した「部品内蔵基板」の製造と品質管理に関する規格が国際電気標準会議（IEC）において国際標準規格として成立しました。

「部品内蔵基板」は、スマートフォンやウェアラブル端末等をより小型化するために必要な次世代の電子回路技術として大いに期待されています。「部品内蔵基板」に関する国際標準規格でこれまでに成立したものはなく、今回成立した福岡発の規格は世界初となる画期的な成果です。

今回の規格に基づき「部品内蔵基板」を製造する際には、国産の材料や装置が利用できるとともに、ノウハウなどの知見について三次元半導体研究センターからサポートを受けることができることから、国内企業にとって非常に有利なビジネス展開が期待できます。

株式会社安川電機創立100周年記念事業「ロボット村」オープニングセレモニー

6月1日、北九州市で株式会社安川電機創立100周年記念事業「ロボット村」オープニングセレモニーが開催されました。

来賓として出席した小川知事は、「県としては、今後、ロボット関連企業と、本県において集積が進んでいる半導体関連企業、それぞれの技術を融合させ、医療福祉分野など成長が期待される新しい市場に合った製品開発を加速させていきたいと考えております」とあいさつしました。



(写真)鏡開きの様子



(写真)安川電気みらい館視察の様子

「県内で水素ステーションの整備が新たに6か所決定、目標の10か所に！」

～FCVを体感できる「ふくおかFCVキャラバン」も開催！～

国の平成26年度補正予算「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の交付決定があり、県内で新たに6か所が採択されました。これまでに開所または整備が決定しているものと併せ、県内の水素ステーションは、当面の目標としていた10か所となります。

また、FCVをさらに普及していくため、5月から、県民の方々にFCVを体感していただく「ふくおかFCVキャラバン」を新たに展開しています。5月の「どんたく」を皮切りに、12月の「福岡モーターショー」まで、県や市町村、「ふくおかFCVクラブ」会員が実施する、ものづくり、エコ、科学のイベントなどとタイアップして開催していきます。今後とも、FCVの普及と水素ステーションの整備を一体的に進め、福岡をFCVの先進的な普及拠点として発展させてまいります。



(写真)どんたく期間中知事公舎演舞場で展示された県公用車のFCV

福岡県への企業立地に関するお問い合わせ先

福岡県商工部企業立地課(発行元)

〒812-8577福岡県福岡市博多区東公園7-7
TEL.092-643-3441 FAX.092-643-3443 E-mail:kigyoo@pref.fukuoka.lg.jp

東京事務所・東京企業誘致センター

〒102-0083東京都千代田区麹町1-12ふくおか会館
TEL.03-5215-7161 FAX.03-3263-7474 E-mail:toukyou-o@pref.fukuoka.lg.jp

大阪事務所

〒530-0001大阪府大阪市北区梅田1-3-1-900大阪駅前第一ビル9階
TEL.06-6341-3627 FAX.06-6341-3622 E-mail:toosaka-o@pref.fukuoka.lg.jp

名古屋事務所

〒460-0008愛知県名古屋市中区栄4-1-1中日ビル7階
TEL.052-262-6938 FAX.052-262-6945 E-mail:nagoya-o@pref.fukuoka.lg.jp

工場等の事業所用地・優遇制度の詳細はHPで

「福岡県企業立地情報」 <http://www.kigyorichi.pref.fukuoka.lg.jp>

福岡県 企業立地

検索